

生野中学校「報告書」

講話 ・ 研修会 ・ 授業 （記録用）	
日時	平成 29年11月 17日 （13時30分～14時15分）
校 園 名	生野中学校
名 称	歯と口の健康づくり
対 象	生徒（1年生） 1年生担任教員 校長 （約110名）
講 師	学校歯科医 岡本卓士
演 題	咀嚼力測定により 咬合の重要性を学習する。
講師内容	保健委員の咬合力を測定し、その結果を見て 咬合とむし歯の発生にかんする「健康教室クイズ」を10問出題して回答させる。 1問ずつ正解を発表して回答しながら 咬合と全身の関連を理解させる。
授業課程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健委員から授業内容の紹介や検診結果の発表が行われた。 ・ 咬合力計により保健委員6名と希望者6名の咬合力を測定した。 左側の平均値は44, 6kg 右側は47, 5kgであった。 最高値は左側は70, 2kg 右側は88, 7kgであった。 ・ 10問の健康教室クイズを出題して、その回答をスライドで解説した。 <ul style="list-style-type: none"> 1 問目 咬合力の平均値を聞く問題 2 問目 歯の場所によって咬合力の違いを聞く問題 3 問目 給食を食べた時間と咬む回数を推測する問題 4 問目 8020の達成者率を聞く問題 5 問目 生野区の子もたちのむし歯の状況を聞く問題 6 問目 清涼飲料水の砂糖量を聞く問題 7 問目 清涼飲料水の酸度を聞く問題 8 問目 コンビニで一番買われた食べ物を聞く問題 9 問目 歯みがき圧の適正圧を聞く問題 10 問目 北海道での3種類の職業の健康調査結果を推測する問題
感想・課題	<p>アクティブラーニングの導入を目指して、実習やクイズ回答など能動的で理解度を確認する授業を行った。咬合力の測定で6名の希望者を募ったところ、20名以上が挙手したので その中から選考するのに「じゃんけん大会」が始まり、それに数分の時間を取られたのが痛かった。</p> <p>クイズ問題は回答した項目を挙手させて正解者を確認した。正解を発表すると一斉に歓声が上がって盛り上がるので、その合間に正解の理由をスライドで解説を行った。</p> <p>各設問の正解率を知りたかったので、クイズ用紙は回収して持ち帰って確認作業をしたかったが、養護教諭が「感想文を書かせたりしますので」ということで持ち帰れなかった。学校での試験？用紙は外部に持ち出すのは問題があるようだ。</p>